

海洋産業の振興に向けたロードマップ（抜粋版）



神戸市

令和3年3月31日

地域活性化に資する海洋産業振興のための長期展望・事業展開施策を具体化する

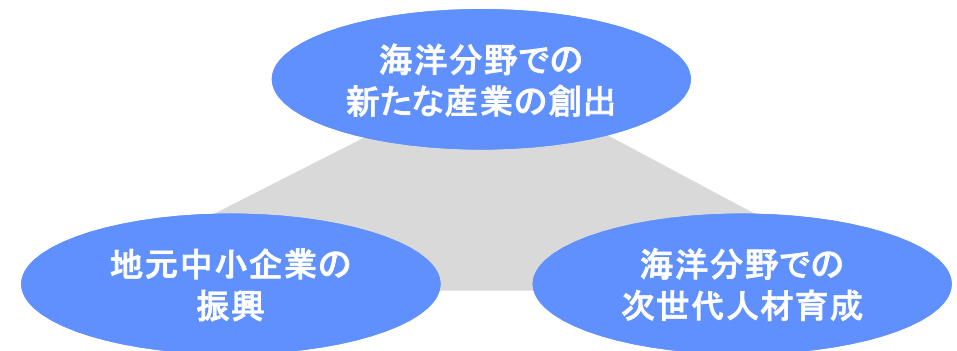
ロードマップ策定の背景

- これまで神戸市は、「医療」「航空・宇宙」「環境・新エネルギー」といった成長分野での産業集積を進めてきていたが、それらに加え「国際港都神戸」として海洋産業の振興を図ることで地方創生を実現するため、平成27年度から海洋産業の調査を実施してきた。
- 海洋産業の調査としては、海洋にかかる産業創出及び企業集積、人材育成についての可能性の調査を目的に、国内外の海洋関連産業の現状及び先進国の動向調査から、将来発展が見込まれる分野の調査及び水中ロボットの研究開発・製造拠点となるために必要な要素の洗い出し、テストフィールド設置に向けた調査等を実施してきた。
- 令和2年度には、これまでの調査内容を踏まえつつ、今後の海洋産業振興に向けた取組の長期的な青写真を描くため、10年のロードマップの策定を進めることとした。

ロードマップ策定の目的

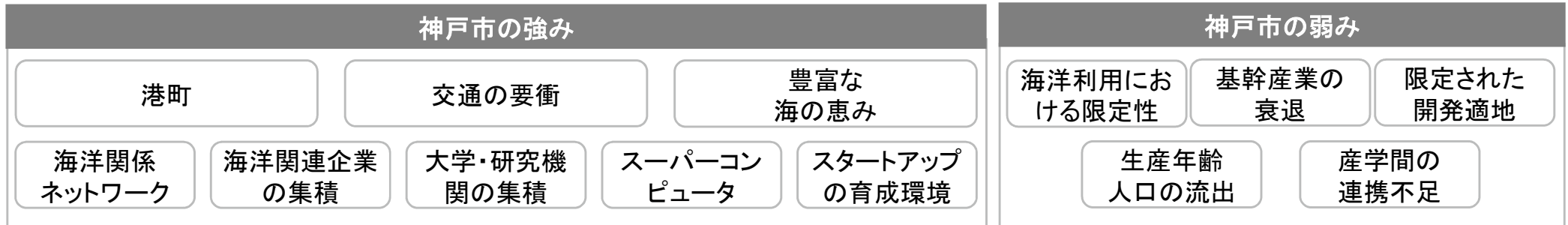
- 地域を活性化するため、海洋分野での新しい産業の創出、地元中小企業の振興、そして次世代の人材育成を図ることを目的に、10年間のロードマップを策定するものである。

神戸市における海洋産業振興政策の目的

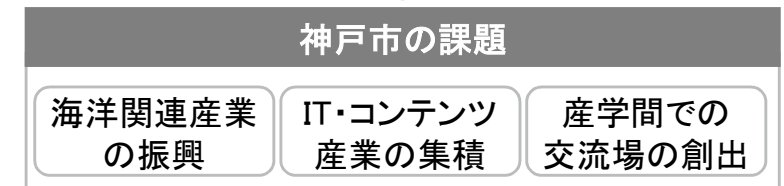


神戸市の強みを活かしつつ、弱みから導出された課題を解決するため、知の集積を目指す

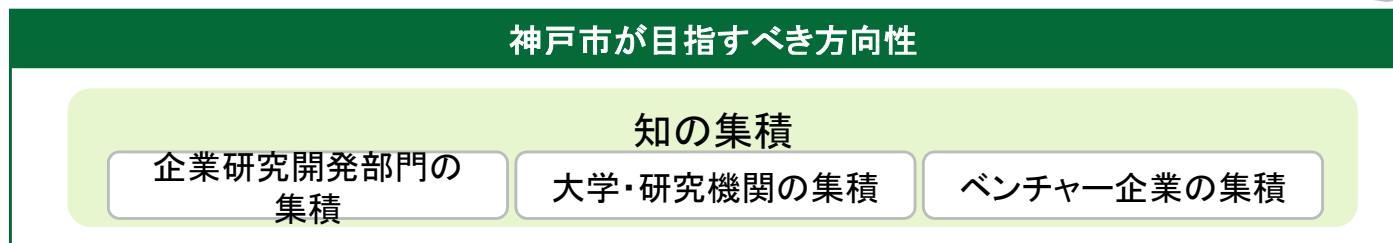
海洋産業振興において神戸市が目指すべき方向性



海洋に関連する大学・企業といった新たな技術サービスを、創出するプレイヤーが集積しているため、その強みを活かした方向性を検討すべき



産業構造の転換を図り、稼げる産業を構築するためには、クリエイティブ産業の集積が必要

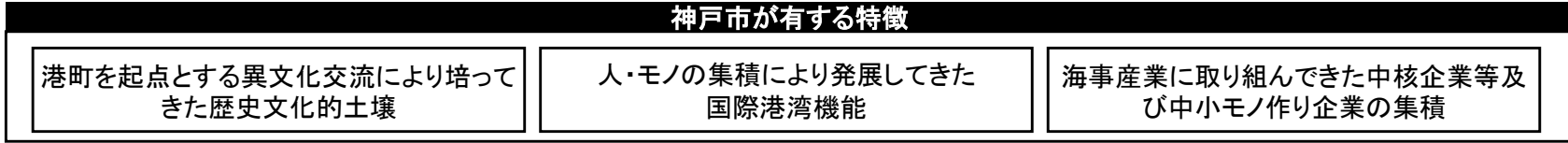


知の集積を加速させるため、神戸市の強み課題を踏まえ、重点的に取り組むテーマ選定が必要

- ①港湾機能高度化・強靱化
- ②水素エネルギーの実用化
- ③海洋ロボット
- ④水産業へのIT活用

知の集積及び事業化を加速させるための仕組みが必要

- ①海洋産業ネットワークの構築
- ②情報の収集・発信
- ③プロジェクトコーディネート
- ④共同研究・開発オフィス/テストフィールド
- ⑤海洋ビジネス・開発サポート
- ⑥普及啓発



集積・連携

集積・連携

情報の収集・発信

普及啓発

- ✓ 産学官及び企業間連携の促進
- ✓ 海洋関係者間交流促進
- ✓ 他都市との連携 (防災/産業創出/観光等)

- ✓ 海洋人材の育成支援

- ✓ 国内外の先端情報の収集・発信
- ✓ 海洋ビジネスコーディネーター(海外)
- ✓ 海洋都市としてのブランディング
- ✓ 海洋データの活用・産業利用促進

海洋産業 × 知の集積
海洋に関連する産業高度化・振興に向けたワンストップ支援

共同研究開発オフィス・テストフィールド

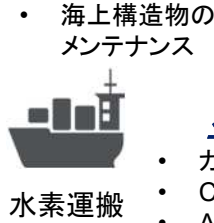
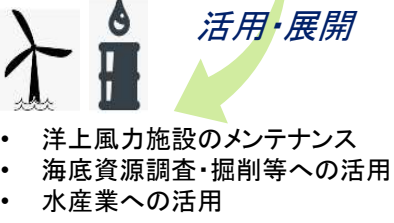
ビジネス/開発サポート

個別プロジェクトのコーディネート

- ✓ 研究開発の促進
- ✓ 教育・訓練の実施

- ✓ 手続・契約・ファイナンス等のサポート

- ✓ 個別プロジェクトの実施・支援
- ✓ コーディネーター(海の専門家)



- ・ 災害耐性の強化に向けた海洋構造物等のデータ収集PJの組成

- ・ 水素燃料電池船の活用推進
- ・ 港湾内施設での水素活用

- ・ 海洋関連産業の高度化に寄与するデータの特定及び仕組み等の構築
- ・ 海洋由来生物の活用促進 (マリンバイオ・ブルーカーボン)

- 出典: 阪神国際港湾(株)
- 港湾機能の高度化による生産性向上・環境改善への貢献**
- ・ カーボンニュートラルポート(CNP)の検討
 - ・ CONPASの実用化に向けた促進
 - ・ AI-IOTターミナル化の促進

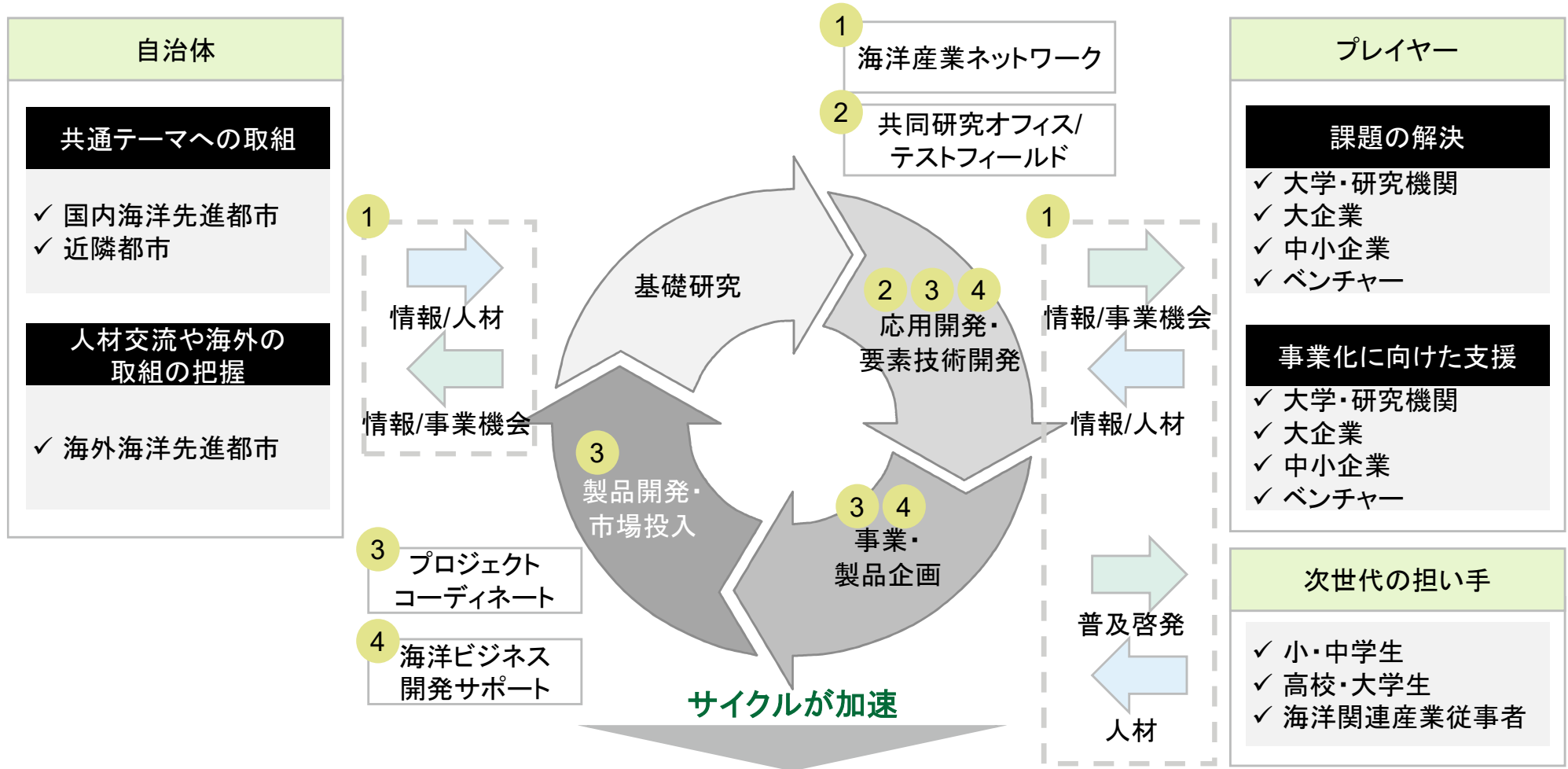
- 水素社会の加速化・実現を通じた低炭素社会の実現**
- ・ 実証事業への継続支援

社会実装

各分野で抽出されるニーズ及び課題の解決に向けた取組の先端拠点となることを目指す

海洋産業振興プロジェクトの機能を活用することで、事業化プロセスの加速化を支援

事業化プロセスにおける海洋産業振興プロジェクト機能の作用イメージ



海洋関連産業における事業化に向けたプロジェクト(PJ)が多数創出

個別PJ

個別PJ

個別PJ

...

「方針」「3年間の事業計画」「10年後の目指すべき姿」の軸からロードマップを作成

神戸市海洋産業振興におけるロードマップ(10年)

	方針	3年間の事業計画(アクションプラン)	10年後の目指すべき姿
海洋産業ネットワーク	目的達成のための効果的な体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市海洋産業振興プロジェクト推進委員会(仮)の設置(ロードマップ実現に向けた事業進捗管理・評価及び個別プロジェクトへの助言等) 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の海洋に関する「知」が神戸に注目する環境の確立 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> 海洋関連企業・団体にとって魅力的なネットワークの構築 事業化に向けたプロジェクトの組成 新たな挑戦企業や団体の海洋産業ネットワークへの参画 海洋産業ネットワークの拡大・充実
	海洋産業振興ネットワークの促進	<ul style="list-style-type: none"> 海洋に関する最先端情報の収集 ニーズの把握及び共有 共同研究テーマ等の提案 	
	海洋産業ネットワークの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等での積極的な情報発信 ニーズ・シーズをつなぐ課題解決型マッチングイベントの開催 フォーラム開催等を通じた周知活動 	
情報の収集・発信	情報収集における仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> 海洋産業ネットワークを活用した最新情報の収集 コーディネーターによる情報収集 産業での利活用が見込まれる海洋データの収集 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の海洋に関する「知」が神戸に注目する環境の確立 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> 国内外における技術情報・最先端研究動向の収集 国内外に神戸の取組を発信
	「伝える」ではなく「伝わる」情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等の情報発信手法の改善(利用者が求める情報を見やすく体系的に整理) 口コミ効果によるホームページ認知度向上 	
コーディネーター	ワンストップサービスの実現(海洋関係者への連携機能の強化)	<ul style="list-style-type: none"> 海洋産業ネットワークとの連携構築 海洋関係機関との関係構築 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の海洋に関する「知」が神戸に注目する環境の確立 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> コーディネーターにより、企業間及び産学連携の実現から様々なプロジェクトが組成 多くの企業や研究機関等の興味・関心を有し、民間資金の獲得を実現
	伴走型支援の実現	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト創出に向けた課題抽出 ※共通課題及び個別課題を分析し、プロジェクトの実行性を高める手引書の作成も検討 民間資金獲得に向けた施策立案 	

「方針」「3年間の事業計画」「10年後の目指すべき姿」の軸からロードマップを作成

神戸市海洋産業振興におけるロードマップ(10年)

	方針	3年間の事業計画(アクションプラン)	10年後の目指すべき姿
共同研究・開発オフィス テストフィールド	自立運営を目指したフィールドの提供	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 既存施設や実海域の有効利用の可能性検討 ➤ 事業実現可能性に向けた調査 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外の海洋に関する「知」が神戸に注目する環境の確立 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 研究開発拠点としてフィールドが効果を発揮 ② 市内外に当該施設の存在が広く認知
	ニーズに応じた柔軟なフィールド提供(オフィス・海又は陸のフィールド等)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 海洋産業ネットワークと連動したトライアルの実施 ➤ 利用者からのニーズ把握 	
海洋ビジネス 開発サポート	ワンストップサービスの実現	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 法律やファイナンス、申請手続き等幅広い関係者との関係構築 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外の海洋に関する「知」が神戸に注目する環境の確立 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当該機能の存在が全国に認知 ② 海洋関連企業等からの支援要請が定着
	規制緩和等における支援	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業化を阻害する課題の把握及び改善に向けた提案 ➤ 海洋産業ネットワークと連携した提言内容の精度向上 	
	製品等に関するブランディング	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 商品化に向けたコンサルティング機能の確立 	
普及啓発	継続した普及啓発活動の実施(小学生から大学生までを対象)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 海を身近に感じる体験イベントの開催(小学生/中学生向け) ➤ 海洋産業を身近に感じる体験イベントの開催(高校生/大学生向け) ➤ 小学生から大学生まで一貫したプログラムの提供 	<p><10年後のゴール></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 海洋に関する「知」の育成につながる環境を確立し、育成に関与する人材が集積 <p><達成すべき状態></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定期的なイベントの開催により市内外から若者・学生が集う
	海洋関連団体等との連携による相乗効果の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 神戸大学などの海洋関係団体との連携 ➤ 海洋関係団体との情報共有体制の構築 	